

# 光市医師会報

平成10年11月号

No. 313



みかん畑より（伊保木）

光市医師会

## 要介護認定モデル事業に参加して

2000年4月より介護福祉法案が実施される事から、そのモデル事業として、各市町村で要介護認定のモデル事業が実施される事になりました。今年度はケアマネージャーの第1回認定試験も始まり、介護サービス体制の整備が始まりつつあります。光市でも要介護認定のモデル事業として、認定審査委員会を設置し、介護度認定を行っております。

そのタイムスケジュールは、

- (1)平成10年8月27日 県説明会  
山口県総合保健会館
  - (2)平成10年9月25日 周南地域説明会  
徳山健康福祉センター
  - (3)平成10年10月8日 第1回認定審査委員会  
光市役所
  - (4)平成10年10月29日 第2回認定審査委員会  
光市勤労者福祉センター
  - (5)平成10年11月5日 第3回認定審査委員会  
光市役所
  - (6)平成10年11月12日 第4回認定審査委員会  
光市役所
  - (7)平成10年11月26日 第5回認定審査委員会  
光市役所
- で施行されました。

この認定委員会は委員長 藤村 朴先生、副委員長 河内山正先生、委員 河村康明の医師3名と老人施設よりの委員3名の計6名で構成されています。自分の関与するケースに対しては判定に加われず、最終的な介護認定の判定には委員の多数決で行なわれます。

今回はこの認定委員会の概略を中心に説

明をしてみたいと思います。

対象は光市在住の約100名の介護対象者（在宅約50名、施設約50名）に対して施行されました。医師会員の先生方が提出されたかかりつけ医意見書はほとんどが在宅関連のものと思われます。

さて、介護認定審査会ですけれども、審査資料としてかかりつけ医意見書と訪問調査員の行う訪問調査票がセットになって、あらかじめ委員に渡されています。委員は審査会の前に疑問点を前もって、チェックし審査会にのぞむわけですが、プライバシー保護の立場から氏名・住所などの個人を特定できるデータは消去されています。

これらの特記事項を含めたかかりつけ医意見書と訪問調査内容を含めたデータをコンピューター処理して、時間換算し、要支援から要介護5までの6段階に分けられ、一次判定とされています。

審査会ではこの一次判定に基づいて分類の妥当性を二次判定されます。勿論、一次判定・二次判定共に再調査などのフィードバック機能は併設されています。

（要介護認定基準の説明）

認定基準は全国統一レベルで行うため、全て時間で示されます。1分間タイムスタディー法として過去2年間にわたって4000人の患者を施設内で様々な介護を行ってそれらの純粋な処置時間を観察員が時間測定して、食事介助〇分、おむつ交換〇分などとされているのでしょう。（介護員が着替える時間や介助の場までの経過時間、準備時間は入っていないとの事です。これらの

総合計時間が要介護認定基準時間と呼ばれるものです。この時間（1日の中で）が

要支援 5～30分(月額サービス費 6万円)

要介護①30～65分( 〳 14～16万円)

要介護②65～100分( 〳 17～18万円)

要介護③100～135分( 〳 21～27万円)

要介護④135～170分( 〳 23万円)

要介護⑤170分以上( 〳 23～29万円)

に分類されます。(自己負担1割)

(平成7年度価格です。)

(介護の分類)

調査票に介護項目は

(1)直接生活介助……身体に直接ふれて行う  
(入浴、排泄、食事など)

(2)間接生活介助……日常生活上の世話  
(衣服、整理など)

(3)問題行動関連介助……徘徊、不潔行動など

(4)機能訓練関連行為……嚥下訓練、歩行訓練など

(5)医療関連行為……呼吸管理、じょくそう処置など

これらの項目が入っている事になります。

そして、これらの項目が時間分配される事になりますが、痴呆患者は余計に時間がかかるとの配慮で1.2倍に介護時間があるとの事ですが、コンピューター処理における個々の時間分配は明らかにされておられません。

認定審査会で決定された認定度に見合った月額サービス範囲内でケアマネジャー・本人・家族が相談をしてそのサービス内容を定めるわけですが、家庭状況に

応じて施設入所・デイサービス・ホームヘルパー・訪問看護などを組み合わせて暖やかな介護を行い、認定度決定のクールな判定を補完する事になります。

(認定審査会に参加して)

まだ完成されていない制度の中での、認定審査ですので、不十分な点が議論の中でも浮かび上がってまいりました。これらの点は市→県→国へと、全国レベルで同様な論点が改定されると思います。

かかりつけ医意見書を読みますと、一度に何10名もみまますので、介護にかかわる病名が前にありますと、その人の病態像が判り易い面があります。普段の診察では余り関与しない部分でも、かかりつけ医意見書では重要な部分を占める事が多々あり、介護に重点をおいた記述が望まれます。又、調査票との記述の不一致や記載もれは直接点数にかかわり、慎重な記載が必要でしょう。一方で、痴呆に関する基礎的な知識や手足の動きを例にとっても拘縮なのか麻痺なのか、判断が困難な事もあり、会員諸先生方の知識の向上も、介護を念頭に入れたものが望まれると思います。

最後に藤村委員長、河内山副委員長の情熱と才智に富んだ審査会の運営ぶりを記し、21世紀の医師会の取り組む課題を皆様と共に考えて筆を置きます。(文責 河村)



(ある日の午後の認定審査会風景)

## 光市医師会親睦旅行

平成10年10月25日(日)

新日鐵診療所 広中 かつえ

医師会旅行の案内を見て私の大好きな柑橘類と、文学の香おり高い「瀬戸内しまなみ海道」ということで是非行ってみたいなあと思っていましたが診療所から初めての参加で一人ということで迷っていたところ他院の友達から「毎年参加して楽しいおいしい昼食が食べれるよ」と誘われ思いきって参加することにしました。前夜はやや興奮気味？少し寝不足の朝を迎えました。バスは7時過ぎに室積出発。私は筒井のバス停から乗車。やや緊張していましたが隣に友達がいたのでホッとしての旅行のスタートです。朝、肌寒く感じられた気温もだんだん上昇し、すっきりとした青空でまさしく行楽日和。バスの中ではガイドさんの話を聞いたりピンゴゲームをしたり楽しい雰囲気の中進行了ました。車中から眺める瀬戸内の海や島々の景色がすばらしく、来てよかったなあと思いました。尾道大橋から因島大橋、生口橋を経てシトラスパーク瀬戸田へ到着。さすがに周辺にはみかん山が多く、甘ずっぱい香りが漂っていました。バスから降りると全員で記念撮影。そして楽しみにしていた昼食たこめし定食です。全員着席したところで広中さんという声が…。何かいいことでも思っていると旅行記の依頼でした。なぜ私が…。診療所が初参加でめずらしい人？ということらしい。食事を前にしてちょっととまどってしまいましたが、これも旅の思い出。楽しいこうとピールで乾杯！他院の人達と会話しながらおいしい昼食をすませパーク内の

見学です。日差しが強く汗ばむ陽気の中、広いパーク内をかわいいシトラスバスに乗って各施設めぐり。約600品種のシトラスを収集・展示しているということでした。香りの館では香り体験、アロマコロジー体験など神秘的でした。他にもシトラスパピリオン、品種展示園等々時間の経つのがあっという間でした。し



(写真中央右 筆者)

かしシトラスパークから見下ろすロケーションは最高でした。最後に楽しみの一つショッピング。皆さんそれぞれに海の幸やシトラスの香りの入った袋を下げバスに乗り、次の目的地瀬戸他町出身の画家・平山郁夫美術館へと向かいました。先日、文化勲章を授章。「仏教伝来」で脚光を浴び平和を願う作品を多く描き、シルクロードやアンコール遺跡の救済にも取り組み活動されている平山郁夫の生いたちや少年時代の絵画、さらにスケッチや下絵等の生の資料が展示されていました。またガンダーラ仏座像、大下図等細かいところまで綿密に描き込まれている一つ一つの作品に思わず見入ってしまいました。平山芸術のすばらしさに感動し美術館を後にバスは帰路光へと向かいました。皆さん疲れたのか車中は静かでした。楽しい終日をすごし心が洗われたような実りの秋でした。旅行を企画して下さっ

た光市医師会、事務局の方々大変お世話になりました。



光市医師会 於 シトラパーク瀬戸田 平成10年10月25日

### 第33回 山口県医師会ゴルフ大会

日時 平成10年10月10日(土)

引受 下松・光市医師会

場所 周南カントリー

(当番 下松医師会)



### 学術講演会

日時 平成10年10月27日(火) 19:00~

場所 光商工会館 2F

演題 アンジオテンシンⅡと心血管リモデリング

講師 山口大学第2内科 講師

矢野 雅文 先生



### 平成10年度周南三市医師会役員会

(光市医師会引受)

日時 平成10年10月30日(金)午後7時より

場所 松原屋

参加者 徳山医師会 5名

下松医師会 5名

光市医師会 8名



**10月度定例理事会**

日時 平成10年10月7日(水)午後7時30分～

場所 医師会事務局

議題

1 郡市産業保険担当理事協議会報告

(光武理事)

2 会計報告(4～9月) (藤原理事)

3 「休日診療所」と「訪問看護センター」  
について

4 周南三市役員会について

**内科医会**

平成12年度山口県内科医会について

第2回会合(平成10年10月16日)

第3回会合(平成10年10月30日)

**心電図研究会(第124回)**

日時 平成10年10月9日(金)午後7時30分～

場所 光商工会館(2F)

講師 河野 隆任 先生

**レントゲン勉強会**

日時 平成10年10月6日(火)午後7:00～8:30

場所 光市医師会事務局

講師 徳山中央病院健診センター長

岡本 安定 先生

**ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ**

急に寒さが増して、体調の変化を感じるのは自分ばかりでしょうか。秋は旅行・スポーツ・味覚の……。となりますので、今回の写真は県医師会ゴルフ大会・職員・家族親ぼく旅行・伊保木のみかん園でまとめました。旅行記では新日鉄診療所の広中さんに御世話になりました。この場をかりて御礼を申し上げます。医療をとりまく環境も介護保険を中心に大きなうねりを感じてまいりました。会員諸氏も、健康に留意されて、大いなる奮闘を期待いたします。(河村)

会 員 料 内

丁度口... (日...)

【...】...

一... (主...)

会 費 納 入 期 間

一... (日...)

各... (日...)

(...)

会 費 納 入 期 間

一... (日...)

各... (日...)

編 者 の 声

光市医師会報は、光市医師会員の健康増進と、市民の健康増進を目的として発行されています。...

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	近藤龍一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社